

独立行政法人国立女性教育会館の令和4年度文部科学省業務実績評価の結果を踏まえた業務運営の改善等への主要な反映状況

中期計画項目	令和4年度業務実績評価における主要な指摘等	左記の指摘等を踏まえた令和5年度、6年度の改善の状況
I－1 男女共同参画社会の実現に向けた人材の育成・研修の実施 I－2 男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備のための調査研究の実施 VII－4 長期的視野に立った施設・設備の整備	【男女共同参画社会の実現に向けた人材の育成・研修の実施】 ・前年度に引き続き、集合研修をオンライン研修に切り替えて実施する中で、ライブ配信等を盛り込むことにより参加者から高い満足度が得られた一方、ターゲット層の参加者数や、集合コース研修の参加者数の確保において課題がある。そのため、今後はオンライン研修の発信方法の妥当性やプログラム内容と現場ニーズとの適合性を検証し、対面・集合研修とオンライン研修のそれぞれの特性を活かす効果的な研修の実施方策について検討が必要である。 【男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備のための調査研究の実施】 ・これまでの調査研究実績を踏まえ、引き続き、初等中等教育並びに高等教育分野における男女共同参画の促進やジェンダー統計に関する調査研究等を着実に実施する必要がある。 【長期的視野に立った施設・設備の整備等】 ・宿泊施設については、長期間に渡って埼玉県へ新型コロナウイルス感染症の療養施設としての貸出をしていた（令和4年7月に終了）が、今後の利用率の回復・向上に向けて、会館の果たす役割や男女共同参画の重要性についての情報発信力を強化する必要がある。	【男女共同参画社会の実現に向けた人材の育成・研修の実施】 令和4年度に設置した、「研修資料等の活用方策に関する検討会」及び「研修資料等の活用方策に関する検討会WG」において、効果的な研修の実施方策について議論を行った。 令和5年度は、「女性関連施設相談員・相談事業研修（基礎研修）」のオンライン講義において研修参加者へのみアクセス先を通知し限定公開することを試行的に実施。アンケートによる満足度も他のコンテンツ同様に高かった。 令和6年度は、男女共同参画について体系的な知識の習得を目的とした、オンラインによる「男女共同参画共通基礎講座」を新たに開発し一部研修の事前学習用教材として活用した。また、「地域における男女共同参画推進のための事業企画研修」及び「女性関連施設相談員・相談事業研修」においては、過年度に制作した動画を配信することで研修事業の効率的な運用につなげた。 【男女共同参画社会の実現に向けた基盤整備のための調査研究の実施】 政策・方針決定過程への女性の参画拡大に向け、学校における管理職に占める女性の割合の現状把握を目的として、学校基本統計のデータを整理し、過去のデータと比較を行うなど「見える化」した、『「学校基本統計」にみる初等中等教育における管理職に占める女性の割合（2023年版）』及び『「学校基本調査にみる初等中等教育における管理職に占める女性の割合（2024年度版）』を作成した。 また、ジェンダー統計では、令和5・6年度ともに、男女共同参画に関する基本的なデータを収集した「国立女性教育会館男女共同参画統計リーフレット」を作成するとともに、統計リーフレットの内容を学習者用に詳しい出所や説明を加えて拡充した「国立女性教育会館統計リーフレット学習版」（日本語版）を作成。令和6年度には（英語版）も作成した。 【長期的視野に立った施設設備の整備】 利用率の向上に向け、ホームページやメールマガジンでの広報、理事長の活動を積極的にSNSで投稿するなど、情報発信を行うとともに、PFI事業者に対するモニタリングを着実に実施した。